

乾しいたけ栽培技術情報「ホダ木の管理」 H23-1

1. 概況と見通し

〔気象〕 関東甲信地方まで梅雨に入りました。岩手県も梅雨入りの時期を迎えています。

〔市況〕 日椎連で開催された箱物品評会では、岩手県産品を中心とする上物、大型品に良い値が付きました。

2. 今後の作業ポイント

(1) 被災したホダ木の復旧

塩水に短時間でも浸かると、ホダ木に塩分が付着します。また、樹皮や木口から、塩分がホダ木に入ってしまう。塩分はシイタケの菌糸に悪影響を及ぼしますので、今後の発生量が低下したり、樹皮が剥がれたりする恐れがあります。さらに、きのこが樹皮に付いた泥や砂を噛み込むと、取り除くことが難しく、出荷した際に「異物混入」となる恐れがあります。

そこで・・・

- ① 回収したホダ木が棒積みで積まれている場合には、早めに展開してください。
- ② 散水施設、農業用動噴、車用の洗浄機などを使って、塩や泥を洗い流すか、浸水を行うようにしてください。

(2) 製品の保管

今後、梅雨と高温期を迎えますので、乾し上げたシイタケは、高温と湿気を避け、乾いた涼しい場所に密閉して保管してください。自宅を選別する場合には、天気の良い日に行ってください。

○この情報に関するお問合せはこちらまで（岩手県しいたけ産業推進協議会事務局）

林業振興課 電話:019-629-5770 FAX:019-629-5779 E-mail:AF0010@pref.iwate.jp

○この情報を含め、様々な相談はこちらまで

林業技術センター 電話:019-697-1536 FAX:019-697-1410 E-mail:ce0011@pref.iwate.jp